

YACHIGASHIRA ぐろーかる FESTA 2019

レポート

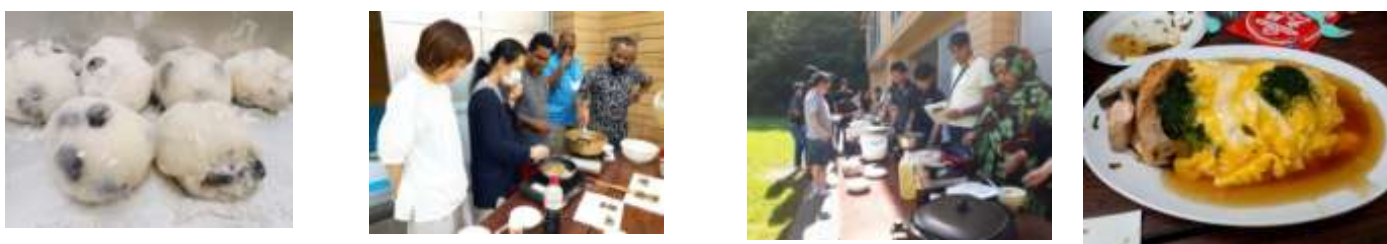
みなさん、こんにちは！9月7日(土)に行われました、ふるる自主事業インターナショナルカフェ「YACHIGASHIRAぐろーかるFESTA」の様子をお伝えします。今回は当日参加申込制にしていたのですが、朝から沢山の方々に足を運んでいただきました。午前9時半から北海道大学水産科学研究院の唯一のたった1名で活動中の応援団によるオープニングセレモニーからはじまり、参加者の皆さんはまず谷地頭町内をめぐるスタンプラリーに小グループでスタートしました。



スタンプラリーに参加したみなさんは、谷地頭町町会前では、古き良きやち屋台ということで、もちつきや昔ながらの遊び体験、谷地頭町の古地図を見て、地域との交流を深めました。老若男女問わず交流を深め、谷地頭町が賑わいをみせていました。



ランチタイムが近づくと、ふるる函館の中庭で谷地頭名物案の「やちメシ」をいざ調理体験！事前に市内数ヶ所で行いましたアンケート調査から「やちメシ」が共催の北海道大学水産科学研究院の学生により発案されました。アンケート調査に参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。「やちメシ」は天津飯をアレンジしたもので、ごはんとお卵の部分は臥牛山(函館山)をモチーフに仕上げます。青のりまたはネギで山の木々を作るのがポイントです。まわりのあんは、海または谷地頭温泉をイメージします。



味付けのアレンジは、協力いただいている各国のJICA研修員の皆さんで行ってもらい、国際交流しながら調理体験を楽しんでもらい、国際交流を深めました。

「やちメシ」作り後は、北海道大学水産科学研究院の学生奏者による「やちライブ」。オリジナルの曲や、有名歌手のコピー曲、そしてオーケストラによる本格的演奏。プロに近い腕前で、参加者一同聞き入っていました。

JICA研修員さんの中には妙心寺の座禅を体験した方もいました。きっと自分自身を見直し、自らのポテンシャルを高めたのではないかと思います、、、。

最後にサプライズショーとして、共催メンバーによる函館と言えば土方歳三、新撰組などイメージしたオリジナルストーリーでおもてなし。とても豪華なショー三昧になり、幕を閉じました。



昨年は、胆振東部地震の停電の影響により中止となりましたが、今回は、多湿猛暑の中でしたが、快晴に恵まれ無事開催し、ふるのの地元の谷地頭の地域の魅力を発信し、国際交流を深めることができました。事業を進めるにあたり共催の北海道大学水産科学研究院の皆様、協力の谷地頭町町会様、JICA北海道様にはたくさんのご支援をいただきありがとうございました。

来年もまたぐるーかるな町おこしを開催できたらと思います。



See you again next year ☆

